

IRデータを活用した教学改善事例

対象期間：令和7年7月～令和8年6月

ジェンダー科目群

自己点検・評価を通じて、授業アンケート結果を確認し、担当者共有と授業改善につなげるサイクルを確立

1 | 課題の把握

授業アンケートで、**全学平均を下回る項目**が確認された。

経年比較・全学比較により、継続的な改善が必要と判断。



2 | 改善の実施

「**ジェンダー科目の現況と問題意識**」を授業担当者間で共有。

各授業の内容・運営改善に反映。



3 | 成果の確認

令和7年度後期複数項目で改善。

例：資料のわかりやすさ、説明のわかりやすさ、言動の適切性、理解度に応じた進行、授業形態の妥当性の平均値の向上

「IRデータを見る」だけでなく、担当者間で課題を共有し、各授業の見直しにつなげた点を事例として紹介する。